



「次世代DDS技術が生み出すイノベーション」

日時：2021年**12月14日**(火) **13:00~15:15** (個別相談 15:30~17:00)

会場：日本橋ライフサイエンスビル 9階 913会議室 (東京都中央区日本橋本町2-3-11)

新型コロナウイルスに対するmRNAワクチンの実用化に脂質ナノ粒子 (LNP) を用いたドラッグデリバリーシステム (DDS) が不可欠であったように、バイオ医薬品の送達システムとして、次世代のDDS技術に大きな注目が集まっている。次世代経皮吸収研究センターは、マイクロニードルに代わる新たな低侵襲性の経皮吸収投与方法を開発するため、界面化学や材料化学、生物工学などの広範囲な学問を融合して研究を推進している。

本セミナーでは、世界をリードする次世代の経皮吸収技術によるバイオ医薬品の創出、免疫を標的とする新しいドラッグデリバリー技術等の研究の最前線について紹介する。

プログラム

13:00~13:05

開会挨拶 九州大学 学術研究・産学官連携本部 遠藤 聡史

13:05~14:05

「バイオ医薬品のための次世代経皮吸収技術」 後藤 雅宏

14:10~15:10

「免疫を標的とする新しいDDSとその可能性」 片山 佳樹

15:10~15:15

閉会挨拶 (公財)九州大学学術研究都市推進機構 事務局長 石橋 義浩

15:30~17:00

個別相談

講師プロフィール



後藤 雅宏 (九州大学 工学研究院 応用化学部門 主幹教授、次世代経皮吸収研究センター長)

1989年3月 九州大学大学院工学研究科合成化学専攻 博士課程修了。1989年4月 日本学術振興会特別研究員 (P D)、1990年6月 九州大学工学部合成化学科助教授、1994年6月マサチューセッツ工科大学留学 (訪問研究員)、2001年11月 九州大学大学院工学研究院応用化学部門教授、2004年12月-2009年10月 SOファーマ (株) 社外取締役、2012年10月 九州大学主幹教授に昇任、2013年4月次世代経皮吸収研究センター長に就任、現在に至る。



片山 佳樹 (九州大学 工学研究院 応用化学部門 教授、システム生命科学府長)

1987年3月 九州大学大学院博士課程修了。(株) 同仁化学研究所主任研究員を経て、1996年4月より九州大学大学院工学研究科助教授、2003年より同工学研究院教授。1999年-2002年JST PRESTO研究員兼任、2004-2008年JST CREST研究代表、2013-2016年先端融合イノベーション創出事業拠点長、2021年-JST共創の場プロジェクトリーダー、2018年-大学院システム生命科学府・学府長、2016年-台湾Chung Yuan Christian University客員教授兼任。

【申込方法】 申込フォームからお申込ください

<https://forms.gle/TpzbyXy4KPd8JiXR9>

【お問合せ】 九州大学日本橋サテライト

電話 : 080-3362-5427 E-mail : n-satellite@airimaq.kyushu-u.ac.jp



主催：九州大学 学術研究・産学官連携本部、(公財)九州大学学術研究都市推進機構

共催：九州大学 次世代経皮吸収研究センター